参考資料3

# 北海道横断自動車道 根室線(尾幌〜糸魚沢) 前回委員会での主な意見と対応

平成30年7月31日

国土交通省 北海道開発局

# ■前回委員会での主な意見と対応

主な意見	対応	資料
・自由記述(P14、P16)にまちづくりという区分があるが道路を作るには地域の住民が携わる産業・生活が持続されていくことが大前提であるが、まちづくりという分類では産業と生活それぞれの意見がわかりにくいのでは。	産業と生活について詳細に分析を行うため、まちづくりを「生産空間維持」と「地域振興」 に再分類を行い意見を整理。	第2回説明資料修正 P14、P16:「生産空間維持」 「地域振興」に再分類
・第8期北海道総合開発計画にある「世界水準の観光地」としての位置づけや道東地域が広域観光ルートにも選ばれている状況を踏まえ、観光でも非常に重要な路線。政策目標への追加や、地域意見聴取で観光団体へのヒアリングの実施なども検討すべき。	①第1回意見聴取の自由記述から観光に関する意見を抽出、観光に関する課題として「移動時間の短縮」と「安全性の確保」が重複して確認されたため、政策目標として「観光」を新たに設定。また、政策目標の設定に伴いアンケート項目に追加。 ②世界水準の観光地としての道東圏の観光地が広域に分散していることを示すために地域の課題を再整理。 ③第2回意見聴取で観光に関する意見を頂くためにヒアリング先に釧路観光連盟、北海道観光振興機構、北海道バス協会を選定しヒアリング予定。また観光客に対して面談アンケートを実施する予定。	第2回説明資料修正 P24、P26、P27、P32 :政策目標・対策案の追加 P34:ヒアリング、アンケート先追加 P40:アンケート項目追加 第1回資料修正 P25:道東圏の観光地を追加
・時間短縮効果について、吹雪等の気象条件による影響を考慮すべきではないか。	季節により救急搬送時間のばらつきが確認されるため、道路の求められる機能として「年間を通じて医療拠点である釧路市への速達性の高い道路」とすることとし、夏季と冬季それぞれの時間短縮効果について評価項目とする。また地吹雪等が多発する区間についてもコントロールポイントとして追加した。	第2回説明資料修正 P26、P27:文言追記 P32:比較表に反映 P28~P31:地吹雪等多発区間を追加
・別線整備案と現道活用案は、整備効果や費用等の観点から 別線整備案が大きく優位なので、何か現道活用案が優位にな る点も示すべきではないか。	地域沿道からの利用しやすさについて検討し「沿道地域からの利便性」について配慮すべき事項に追加。	第2回説明資料修正 P27:配慮すべき事項に追加 P29~P31:ポイントに追加 P32:比較表に追加 P40:アンケート項目に追加
・意見聴取で女性の意見が25%と少なく、女性からの意見を増やす工夫が必要ではないか。また自由記述について様々な意見を聴取できるのでたくさん記載してもらえるような工夫が必要ではないか。	①幅広い女性の意見を頂くためにヒアリング先に農業・漁業の協同組合の女性部を 選定しヒアリング予定。 ②自由記述に意見を書き込めるように記述欄を拡大。	第2回説明資料修正 P34:ヒアリング先を追加 P40:自由記述欄の拡大
・医療の観点では、釧路根室管内の救急搬送先は釧路市に集中しており、これらの地域医療の切実さを訴えて、路線の必要性の理解をより深めるべきではないか。	沿線(浜中町・厚岸町)の地域医療の実態について高次診療科目の少なさやドクターへ リの運航状況を把握することで地域医療の切実さを訴え路線の必要性を整理。	第1回説明資料修正 P21:文章追記 ドクターヘリ運航状況追加
・地域意見聴取では多くの自由意見をいただいており、一部を 掲載するだけではなく統計的なデータのとりまとめも検討すべ きではないか。	自由記述の意見について統計的に分析を行うために詳細なキーワードを設定し、6つの項目(安全性・走行性、防災、アクセス・交通機能、生産空間維持、地域振興、そのた)で分類。	資料「3.自由意見とりまとめ」を 新規追加

### ○政策目標の設定

#### <主な意見>

- 〇第8期北海道総合開発計画にある「世界水準の観光地」としての位置付けや、道東地域が広域観光周遊ルートにも選ばれている状況を踏まえ、<u>観光という観点</u>でも非常に重要な路線。政策目標への追加や、地域意見聴取で観光団体等へのヒアリング等を実施すべき。
- 〇医療の観点では、釧路根室間の救急搬送先は釧路市に集中しており、これらの地域医療の切実さを訴えて、路線の必要性をより深めるべきではないか。
- <対応>
- 〇前回委員会での意見や各種計画の位置付け、地域意見聴取結果等を踏まえ、政策目標に観光を追加するとともに、医療の政策目標を地域医療の観点で修正。

#### ■政策目標の設定

地域や道路の状況・課題

圏域と地域の将来像

地域意見聴取の結果

#### ■対策案の検討

### 【物流関連】

- 線形不良区間の回避による走行性向上
- 市街地の回避による貨物輸送と生活交通の分離による安全性・効率性向上

### ・日本の食卓を支える主要物流輸送経路の効率性・安全性の向上

- ・世界水準の観光地形成に向けた、ひがし北海道の広域観光周遊支援
- ・地域が安心して暮らせるため、医療施設への速達性・安定性の向上
- 大規模地震発生時の避難・復旧活動を支援

### 【観光関連】

- 東北海道の玄関である 釧路空港へのアクセス 性向上
- ・釧路根室間の移動にお ける定時性向上

### 【医療関連】

- <u>年間を通じた釧路市の</u> <u>医療施設への円滑な移</u> 動と時間短縮
- ・救急搬送時の安定性 向上による患者の負担 軽減

### 【災害関連】

- 大規模地震による津波 発生時の避難・復旧支 援経路を確保
- ・地域の基幹ネットワークの多重性確保

別線整備や既存の道路ストック活用も含め対策案を設定し整備方針を検討

### ○対策案のまとめ

#### <主な意見>

- 〇別線整備案と現道活用案は、整備効果や費用等の観点から別線整備案が大きく優位なので、何か現道活用案が優位になるような点も示すべきではないか。
- ○時間短縮効果について、吹雪等の気象条件による影響も考慮すべきではないか。
- <対応>
- ○別線整備ルートと一部現道活用ルートを沿道地域からの利便性の観点で比較評価。
- 〇地吹雪多発箇所等、気象条件による影響の大きい箇所を明示。



### 案① 別線整備ルート

(津波浸水予測範囲を回避し、環境面への影響に最大限配慮したルート)

### 案② 一部現道活用ルート

(現道を部分的に活用し、局所的な改良を行うルート)

- ・市街地や津波浸水予測範囲を回避し、安全性や代替性、耐災害性に優れる
- 案②に比べ延長が長くなり、自動車専用道路なのでサービス速度は確保しやすい
- 別線整備のためアクセスコントロールされ、案②に比べ糸魚沢集落で利便性が低下する
- ・現道を活用するため、環境面への影響は少ないが一部環境に配慮が必要な範囲を通過
- ・現道に一部急な上り下り坂が残り、所要時間はあまり短縮できない
- 一部区間を別線整備するため、既存の道道を活用することで代替路を確保できる
- 糸魚沢集落付近は現道活用区間であり、道路へのアクセス性が損なわれない
- ・低浸水区間は津波対策で道路を嵩上げする盛土を行うためコストが増加する

# ○対策案の比較

#### <対応>

- 〇政策目標に観光を追加し、拠点となる空港へのアクセス性向上や気象条件等による定時性の向上を比較
- ○政策目標に地域医療の観点を追加
- ○観光や医療のアクセス性に気象条件の観点(夏期、冬期)を追加
- ○別線整備ルートと一部現道活用ルートの比較項目に沿道地域からの利便性を追加。

対策案の考え方  区間延長			【案①】別線整備ルート	【案②】一部現道活用ルート
		その考え方	津波浸水予測範囲を回避し、環境面への影響に最大限配慮したルート	津波浸水予測範囲のうち、低浸水区間は道路の嵩上げにより現道を活用するルート
		間延長	約25km(自動車専用道路)	約24km(自動車専用道路+現道改良)
	日本の食卓を支える	線形不良区間の解消	・急な上り坂、下り坂を回避できる	・急な上り坂、下り坂を一部回避できない
	主要輸送経路の効率性・安全性の向上	走行安全性の向上	・貨物輸送と厚岸市街・糸魚沢集落の生活交通の輻輳が解消され安全性が 確保される	・糸魚沢集落では、貨物輸送と生活交通の輻輳が残るため、安全性に不 安が残る
	世界水準の観光地形成に向けた、ひがし	<u>釧路空港への</u> アクセス性向上	・夏季、冬季ともに年間を通じて釧路空港―根室市間の時間短縮効果が大きい	・一部現道を活用するため、夏季、冬季ともに年間を通じて釧路空港— 根室市間の時間短縮効果が小さい
政	北海道の広域観光周 遊支援	定時性の向上	・冠水・地吹雪による通行止め多発区間の回避が可能	・糸魚沢集落付近で一部通行止め多発区間を回避できないが、現道対策 で低減効果が期待
政策目標		第3次医療機関への 移動時間短縮 <u>(夏季・冬季)</u>	・夏季、冬季ともに年間を通じて時間短縮効果が大きい	・一部現道を活用するため、夏季、冬季ともに時間短縮効果が小さい
		搬送時の安定性向上	・信号箇所(7箇所)や急なカーブ(9箇所)を全て回避し、搬送患者の 負担を軽減できる。	・別線区間は信号箇所(6箇所)や急なカーブ(8箇所)を回避できるが、現道改良区間で信号箇所(1箇所)や急なカーブ (1箇所)が一部残り、搬送患者の負担軽減に支障がある。
	大規模地震発生時の 避難・復旧活動を支 援	脆弱性の解消	・津波浸水区間を別線整備により解消し、地震・津波発生時の避難・輸送ルートを確保できる	・津波浸水予想範囲にある低浸水区間の現道の嵩上げにより解消し、地震・津波発生時の避難・輸送ルートを確保できる
		代替路の確保	・別線整備により全線代替路を確保できる	・一部区間の別線整備と、既存の道道ネットワークを活用することで代替路を確保できる
		家屋等土地利用への影響	・家屋等の支障が少なく、農用地への影響は小さい	・家屋等の支障が少なく、農用地への影響は小さい
配	地域への影響	沿道地域からの利便性	・ <u>アクセスコントロールされるため糸魚沢集落からの利便性が案②に比べ</u> <u>やや劣る</u>	・一部現道を活用するため糸魚沢集落からの利便性が高い
慮すべき	環境への影響	自然環境への影響	・延長が長いが、樹林地や貴重な湿地など自然環境への配慮が必要な範囲 を回避しており、自然環境への影響は小さい	・樹林地や貴重な湿地など自然環境への配慮が必要な範囲を一部通過するが、樹林等の改変面積が小さいため、自然環境への影響が比較的小さい
	工事中の影響	工事中の現道 交通への影響	・別線ルートとなるため、工事中の現道交通への影響は案②に比べ小さい	・現道改良区間は現道交通への影響が大きく、工事中の通行規制が必要
	経済性	整備区間や構造等に	・経済性に優れる	・津波浸水域を通過するため、対策費用が嵩み、案①に比べ 経済性に劣る
		係る費用	約620~700億円	約790~880億円

# ○第2回地域意見聴取方法

#### <主な意見>

- ○観光という観点でも非常に重要な路線。地域意見聴取で観光団体等へのヒアリング等を実施すべき。【再掲】
- 〇地域意見聴取では女性からの意見が25%と少なく、女性からの意見を増やす工夫が必要ではないか。
- <対応>
- 〇観光団体(釧路観光連盟、北海道バス協会、北海道観光振興機構)へのヒアリングを追加
- ○観光施設等(空港や道の駅)での観光客への面談アンケートを追加
- ○関係団体(農・漁業協同組合女性部)へのヒアリングを追加

#### ■第2回地域意見聴取の基本方針

〇「比較ルート帯(案)」「配慮すべき事項」に 対し意見を伺う。



#### ■地域意見聴取の方法と対象者

	対象者・実施方法								
	【沿線自治体及び関係団体】								
		沿線自治体等	釧路総合振興局、根室振興局、釧路市、釧路町、厚岸町、浜中町、根室市						
ヒアリング		関係団体	商工会議所(2箇所:釧路、根室)、商工会(2箇所:厚岸、浜中)、根室市町会連合会婦人部連絡会 農業協同組合(2箇所:JA釧路太田、JA浜中町) 漁業協同組合(3箇所:厚岸漁業協同組合、根室漁業協同組合、浜中漁業協同組合)、 <mark>農・漁業共同組合女性部(5箇所)</mark> 、農水産加工会社(7箇所) 釧根地区トラック協会、運送会社(3箇所) 消防本部・消防組合(3箇所:釧路東部消防組合消防本部・厚岸消防署、浜中消防署、根室市消防本部) 病院(3箇所:市立釧路総合病院、町立厚岸病院、市立根室病院 釧路観光連盟、北海道バス協会、北海道観光振興機構	インタビュー形式での ヒアリング					
	【地域	は住民及び道路利用:	者】						
アンケ		地域住民	厚岸町(全世帯:約4,000戸)、浜中町(全世帯:約2,400戸)、 根室市(全世帯:約11,600戸)	配布アンケート調査 (約18,000戸)					
۱		道路利用者	市役所、町役場および道の駅(厚岸グルメパーク、スワン44ねむろ)、 <u>釧路空港</u>	常設の留め置きアンケート調査 <u>面談アンケート(観光客)</u>					
		<u>観光客</u>	広域的な利用者	Webアンケート調査					

# ○第2回アンケート調査(案)

#### <対応>

- ○設問に「釧路空港と主要観光地との所要時間短縮」を追加
- ○設問に「観光周遊時における通行止め多発区間の回避」を追加

#### ■質問内容·解答欄

#### 質問1 対策案(ルート帯案)の検討にあたって、どの項目を重視すべきと思いますか?

次のA~Fの項目それぞれについて、「特に重視すべき」~「重視する必要はない」の <u>当てはまる箇所1つに〇</u> をつけてください。	まに重視 すべき	やや重視 すべき	どちらとも いえない	あまり重視 する必要は ない	重視する必要はない
A 急な下り坂、上り坂の回避	1	2	3	4	ιb
B 貨物輸送と生活交通の分離	1	2	3	4	5
C <u>釧路空港と主要観光地との所要時間短縮</u>	1	2	3	4	5
D <u>観光周遊時における通行止め多発区間の回避</u>	1	1,2	3+1-	4	5
E 釧路市の医療拠点への所要時間の短縮	四台1	よ返信	351	-配分線	, 3 <sub>5</sub> 9
F 信号箇所や急なカーブの回避による救急搬送時の負担軽減	1	2	3	4	5
G 津波浸水区間の回避	1	2	3	4	5
H 災害による通行止め発生時の代替路の確保	1	2	Ŝ	1	5

#### 質問2 新たな対策案(ルート帯案)の比較にあたって、どのようなことに配慮して計画すると良いと思いますか?

次のA~Dの項目それぞれについて、「特に配慮すべき」~「配慮する必要はない」の <u>当てはまる箇所1つに〇</u> をつけてください。		まに配慮すべき	かや配慮 すべき	どちらとも いえない	あまり配慮 する必要は ない	配慮する必要はない
A <u>家屋や施設等への影響が小さく沿道地域からのアクセスしやすいこと</u>		1	2	3	4	5
B 自然環境への影響が小さいこと	П	1	2	3	4	5
C 工事中の交通規制による影響が小さいこと		回答	ま返信	まがっきに	記 本 願 し	<b>いま</b> す
D 建設に要する費用が安いこと		1	2	3)	1	5

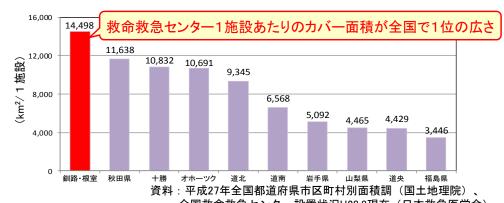
質問3 その他、配慮すべき項目や、今後の道路整備についてのご意見等がありましたらご自由にお書きください。

# ○地域の状況と課題(医療1)

#### く主な意見>

- 〇医療の観点では、釧路根室間の救急搬送先は釧路市に集中しており、これらの地域医療の切実さを訴えて、路線の必要性をより深めるべきではないか。
- <対応>
- ○意見聴取結果から地域医療の実情や課題に関する内容を抜粋し、意見を補足するデータを整理。
- 〇釧路根室地域は、第3次救急医療機関(市立釧路総合病院)の1施設あたりのカバー面積が全国1位の広さ。
- ○高次医療に対応可能な診療科目は釧路市に集中し、救急搬送先も釧路市に集中。厚岸町も浜中町も高次医療診療科はほぼなく釧路市に依存。

#### ▼第3次救急医療機関1施設あたりの3次医療圏カバー面積(上位10位)



全国救命救急センター設置状況H28.8現在(日本救急医学会)



#### ▼受診が可能な診療科目

市町村	内科	外科	整形外科	形成外科	消化器内科	循環器科	心臓血管外科	脳神経外科	産婦人科	耳鼻咽喉科	皮膚科	肛門科
釧路市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
厚岸町	0	0	Δ					Δ				
浜中町	0	0							_			
根室市	0	0	Δ		0	0	Δ	Δ	Δ	A	0	

- 〇:週3回以上診療実施 △:出張医対応のため曜日が 限られる診療科目
- 厚岸町・浜中町とも高次医療はほぼなく産婦人科もない。 診療科目も限られるため釧路市への依存が高い

資料:北海道救急医療・広域災害情報システム(H30..7現在) ※根室市立病院は条件付きでの分娩のみ対応

#### ▼地域の声(町立厚岸病院、浜中町、浜中消防署、根室市長会連合会婦人部連絡会)

- ・厚岸病院では現在手術ができる機器がなく、手術をする医師がいない。そのため、手術が必要な患者 は釧路へ搬送することになることから、早く到着できる環境ができると助かる。
- ·H29年の9月まで霧多布と茶内に診療所があり、休診していた茶内診療所がH30、3月末で閉所する ことが決まった。夜間診療もなく、内科しかないことから釧路での受診が多い。
- ・難しい病症になると釧路に搬送しなければいけないことから、より時間短縮できればと切に思っている。
- ・浜中町では救急搬送のほとんどを釧路に依存しているのが実情であり、道路の整備は重要。
- ・根室から釧路へ通院している人は、時間がかかるため朝早くから出発して帰ってくるので疲れてしまい、 負担が大きい。

資料:第1回意見聴取結果より抜粋

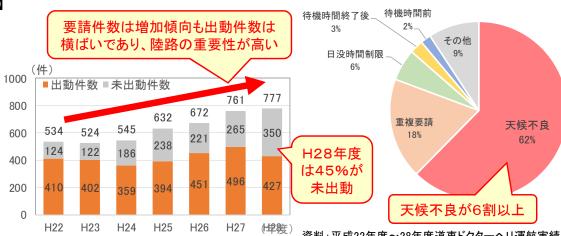
# ○地域の状況と課題(医療2)

#### く主な意見>

- ○医療の観点では、釧路根室間の救急搬送先は釧路市に集中しており、これらの地域医療の切実さを訴えて、路線の必要性をより深めるべきではないか。
- <対応>
- ○意見聴取結果から地域医療の実情や課題に関する内容を抜粋し、意見を補足するデータを整理。
- ○第3次救急医療機関へ60分以内に到着できない厚岸町の人口は、夏季において1.0千人(10%)、冬季悪天候時には搬送時間が増加し、9.3千人(95%)に拡大。
- ○道東ドクターへリの要請件数は年々増加傾向も、H28年度は要請777件のうち350件(45%)は未出動。

#### ▼第3次救急医療機関60分カバー圏 【厚岸町の第3次救急医療機関60分圏外人口割合】 冬季悪天候時の60分圏 厚岸町 60分圏域外 冬季の60分圏 人口 人口(割合) 夏季 1.0千人(10%) 夏季の60分圏 冬季 3.7千人(38%) 9.8千人 冬季 9.3千人(95%) 悪天候時 根室市 浜中町 厚岸町 資料: 平成27年国勢調査 厚岸町市街地 第3次救急医療機関 (市立釧路総合病院) 湖南地区(約9300人)が冬季悪天候時 には60分圏外に陥る

#### ▼道東ドクターへリの要請件数·出動状況の推移 ▼未出動理由の内訳(H22~28)



資料: 平成22年度~28年度道東ドクターへリ運航実績 (市立釧路総合病院HP)

#### ▼地域の声(町立厚岸病院、根室市消防本部、市立根室病院)

- ・重篤な患者の対応は釧路市の病院となり、搬送手段はドクターへりもあるが、日没後は出動せず、天候に左右されることも多く安定的な運用が困難なため、<u>救急車での短時間到着</u>は必須事項である。
- ・脳梗塞の場合、4時間30分以内にt-PAを打てればその後の後遺症が大きく違ってくるが、<u>釧路・根室地域で治療を行えるのは市立釧路総合病院、釧路孝仁会記念病院、釧路ろうさい</u>病院のみである。
- ・根室市消防本部には救急車が3台のみであり、搬送が多い場合や<u>長時間を要する釧路市</u> への搬送時には出動できる救急車が無くなる場合がある。
- ・緊急を要する出産に関しては救急搬送となることから、1分1秒でも早い搬送時間が課題となる。

資料:第1回意見聴取結果より抜粋

# ○自由記述に対する分析

#### く主な意見>

- ○地域意見聴取では多くの自由意見をいただいており、一部を掲載するだけでなく統計的なデータの取りまとめも検討すべきではないか。
- <対応>
- ○自由意見について統計的なデータの取りまとめを実施
- ○意見聴取時に設問を設けていなかった観光の観点で自由意見を抽出

	自由記述のキーワード	分類項目	キーワード区分
	線形・縦断勾配、幅員・車線数・追い越し、視程距離、道	安全性・走行性	線形・縦断勾配、幅員・車線数・追い越し、視程距離、道路付帯施設(街灯・信号・標識・街灯・歩道等)、走行性向上、冬期事象対策(路面凍結等)、野生動物対策
	路付帯施設(街灯・信号・標識・街灯・歩道等)、津波・ 冠水等の水害対策、冬期災害対策(暴風雪等)、その他災 害対策(地すべり・地震等)、産業・観光振興、地域活性	防災	津波・冠水等の水害対策、冬期災害対策 (暴風雪等) 、その他災害対策 (地すべり・ 地震等)
	化、走行性向上、冬期事象対策(路面凍結等)、野生動物	アクセス・交通機能	都市へのアクセス向上、所要時間短縮、渋滞緩和
	対策、都市へのアクセス向上、所要時間短縮、渋滞緩和、 少子化・高齢化への対応、過疎化への対応、地域医療の充	生産空間維持	少子化・高齢化への対応、過疎化への対応、地域医療の充実、まちづくり・各種取組 との連携、公共交通手段の充実
	実、まちづくり・各種取組との連携、公共交通手段の充実、 景観・環境への影響、鉄道問題への対応、維持管理(老朽	地域振興	産業・観光振興、地域活性化
	に対策、舗装、除雪等)、その他 (大学では、	その他	景観・環境への影響、鉄道問題への対応、維持管理(老朽化対策、舗装、除雪等)、 その他
,	795件(全体の48%)  ◆地域課題・必要な道路機能に関する意見 ・安全性、走行性 323件 ・防災 175件 ・提示した地域課題の補足意見 113件 ・アクセス・交通機能 82件 ・生産空間維持 34件 ・地域振興 23件 ・その他 45件	◆地域課題・道・安全性、走行・防災・地域課題の報・アクセス・交通・生産空間継・・地域振興・その他	性 4件 34件 1% 4% 2件 1場 2所
	747件(全体の45%)	_	地域課題の自由記述

### 全回答 STFP1. 意見内容の 分類 • 整理 総回答者数 993人 自由記述 1662件

### ◆道路整備方針に関する要望

·着工·完成要望 471件 ・整備ルート、道路構造、付帯施設に関する要望 229件 ・現道整備、維持管理に関する要望 41件 ・その他整備に関する要望 6件

72件(全体の4%)

#### ◆事業及び行為に対する批判・否定的意見

・整備不要、現状で十分、無駄等 72件

#### 48件(全体の3%)

#### ◆その他

道路以外の要望、回答できない、記載内容不明等 48件

#### STEP2.

◆道路整備方針

付帯施設等

・現道の作り方

◆批判·否定的意見

・その他整備

·着工·完成要望

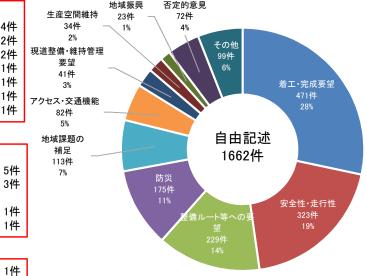
• 整備ルート、道路構造、

3件

1件

◇項目ごとの意見件数に 応じて代表的な意見を選定

・掲載件数は意見件数の1% (1件以下切り上げ)



#### 自由記述の内容は大きく分けて

「地域課題・必要な道路機能に関する意見」と「道路整備方針」に分類。 意見で最も多いのは着工・完成要望で28%となっており 分類項目では安全性・走行性が19%と最も高く、続いて防災11%、 アクセス・交通機能5%と続く。事業に否定的な意見も4%も含まれる。

※1人の回答者が複数の分類に関する記載をしている 場合もあるため、各分類の回答者は重複している。

# ○自由記述での代表的な意見

	分類	主な意見内容			
地域課題 ・道路機 能に関する意見	安全性、走行性 【323件】	<ul> <li>シカの事故や野生動物の事故防止</li> <li>可能な限り、片道2車線にしたり、追い越し車線が必要だと思います。</li> <li>冬の安全で走行できる道路があれば病院に行きやすい。また、鹿が出るところでもある。</li> <li>起伏があったり、低地を走ったり、吹雪いたり、シカの飛び出しもあるので、もっと安心安全な道路になればいいと思う</li> </ul>			
【795件】	防災【175件】	<ul><li>津波災害に限らず台風大雨による道路冠水で通行止めが毎年のように発生するので、早急な計画・着工が望まれる。</li><li>迂回路が無いため、災害、浸水、大雨等による通行止めが大きな心配事である。</li></ul>			
	地域課題補足意見 【113件】	<ul> <li>設問どおり、緊急性、安全性、定時性、また、物流・人流面、観光ルートの形成など、地域の抱える問題課題解決や地域の取組みに大きなプラス効果をもたらす幹線道路と認識し。本区間が一刻も早く工事着手、整備されることを強く要望致します。</li> <li>根室から釧路へ行く時に必ず通る道なので、もっとスムーズに行けるようになってほしいです。妊婦なので病院に行くのが不安です。</li> </ul>			
1	アクセス ・交通機能【82件】	片道2時間半、往復5時間かけ、家族全員釧路まで通院しています。運転している物が元気でなければいけませんが、年々距離が 負担ですし、先が心配です。集まってる者も病院に行くだけで具合が悪化して疲労が強い。短縮して欲しい。			
	生産空間維持【34件】	• 高速道路!子供の進路・将来、地元に根付く何かが無いと、町が死んでいく。			
]	地域振興【23件】	・ 物流、観光産業における地域格差是正のため早期着工を実現してほしい。			
	その他【45件】	・ 環境保全も十分に考えてほしい。			
道路整備 方針に関 する要望 【747件】	着工·完成要望 【471件】	<ul> <li>・ 道東には必要な道路であると思いますので、早期に工事を開始して完成することを期待します。併せて釧路~尾幌間や糸魚沢~根室間がつながることによって、より便利な道路になることと考えます。</li> <li>・ 高速道路が阿寒まで開通し、道央圏からも観光客が多く利用している路線であり、これから高速道路が延伸されると今以上に利用されることが予想できるので、早期に整備してほしい。</li> <li>・ 根室市に在住しておりますが、充実した生活を送るためには釧路市との往来は欠かせないと感じております。しかし、片道2時間の道のりは負担がかかります。特に、エゾシカとの接触事故や冬季間のスリップなどが多く、物流・医療・観光など様々な観点から考えても安全で運転しやすい道路をつくることは非常に重要であると考えています。早期の着工を強く望んでおります。</li> <li>・ 災害があっても、確実に確保できる道路を一刻も早く着工してもらいたい。</li> <li>・ 災害(地震・津波等)はいつ起こるかわかりません。そのため本区間の早期着工、早期完成を望みます。</li> </ul>			
	整備ルート、道路構造、 付帯施設等【229件】	<ul> <li>津波災害時の避難・救援ルートとなるので、町道、道道からアクセスしやすく、避難時の待機スペースを近い間隔で設備してほしい。</li> <li>片側1車線は、事故時通行止めになるので、大型物流も考え、片側2車線が理想だと思う。</li> <li>湿原等自然環境への影響が最少ですむ様なルート選定、工事を検討願います。</li> </ul>			
	現道整備、維持管理 【41件】	• 今の国道44号でも、鹿との衝突を除けば、輸送効率は十分だと思う。無駄な税金を使ってもう1本道路を作るより、既存の国道44 号を直線化、道路拡張、地吹雪対策及び鹿防護ネット等を拡充させた方が、工期も短く、費用も安く、より現実的だと思う。			
	その他整備【6件】	• 根釧の豊かな自然を残しながら、ただの高速化目的の道路とせず、特色のある道路整備を求めます。			
事業及び行為に対する批判・ 否定的意見【72件】		・ 人口が減少していく、そして過疎化がより一層進む中で、新しく道路を造る必要は感じない。今ある道路を少しでも良くする方法も 考えるのが大事では。			

# ○「観光」に関する代表的な意見

設問	意見の内容
	<ul> <li>アンケートの設問どおり、緊急性、安全性、定時性、また、物流・人流面、観光ルートの形成など、地域の抱える問題課題解決や地域の取組みに大きなプラス効果をもたらす幹線道路と認識しております。北海道横断自動車道の本区間が一刻も早く工事着手、整備されることを強く要望致します。</li> </ul>
	• 高速道路が阿寒まで開通し、道央圏からも観光客が多く利用されている路線であり、これから高速道路が延伸されると今以上に利用 されることが予想できるので、早期に整備してほしい。
	・ 観光や物産目的で根室方面に行くのに時間がかかりすぎ、行くことをあきらめる場合有り
<b>←</b> □ \	・ 道路事情が良くなれば根室方面への観光客増。
観光 【20件】 自由記述 1662件	• 道東の自治体がその中心都市・釧路市と結ばれていないことにより、物流・観光・防災・医療の観点、さらには物流・人流拠点である 港湾・空港等を結ぶネットワークの形成と言った経済面など、数多くの面で支障がある。このため、釧路・根室間さらには阿寒・釧路 間の一日も早い開通が望まれる。
	・ 釧路から先、東への道路の長さ、渋滞で観光客の足が遠のいている
	• 1に物流、2に観光。一刻も早い開通を願います。地域の住民は、都市部への交通の便と時間短縮を切に願っています。
	・ 通行止め、生活・観光も損失の現実になっている
	<ul><li>44号が止まると帰宅困難者が多く、迂回路も地元の人しかわからないような農道を走らなくてはいけなくなる。観光やビジネスで来ている人は絶対に迷うと思うので早く道路を作って欲しい。</li></ul>
	・ 物流、観光産業における地域格差是正のため早期着工を実現してほしい。